

令和5年度 事務支援グループ活動計画書

益田市北部事務支援グループ

現状・課題	<p>益田中校区1中学校と2小学校、東陽中校区1中学校と2小学校での構成で、益田中に加配がありグループ構成員は7名である。活動場所は基本的に益田中会議室を利用している。</p> <p>加配事務職員により吉田小へ週2回火曜日及び木曜日の午後に訪問支援を行う。各中学校区で異動事務職員がいるので、小中連携等含めて支援体制の強化が求められる。</p> <p>昨年度グループ活動の一環として島事研の研究を取り入れ、自己目標についてグループ内で共有し少しではあるがお互いの目標としているものを確認し助言等ができた。今年度も引き続き共有を図り個々のスキルアップにつなげたい。</p> <p>定例のグループ活動においては、異動事務職員に配慮し、円滑な事務処理ができるよう必要な研修や情報共有等を大切にしながら行っていきたい。</p>																					
目 標	<p>(1) 事務職員の資質向上</p> <p>(2) 学校事務の効率化・平準化</p> <p>(3) 小中連携の強化</p>																					
重 点	<p>(1) 異動事務職員への支援</p> <p>(2) 各校の取組や事例研修など情報共有からの事務職員の育成や資質向上</p> <p>(3) 各中学校区等における課題対応</p>																					
組 織	<p>事務支援グループ構成員</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">益田中学校</td> <td style="width: 20%;">事務リーダー</td> <td style="width: 50%;">丸橋 弘美 (グループ長)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>主 事</td> <td>田中 暁子</td> </tr> <tr> <td>吉田小学校</td> <td>主 任</td> <td>宮内 裕樹</td> </tr> <tr> <td>吉田南小学校</td> <td>主任主事</td> <td>稲田 耕一 (育休補充 藤永 美津江)</td> </tr> <tr> <td>東陽中学校</td> <td>主 任</td> <td>又賀 美津子</td> </tr> <tr> <td>鎌手小学校</td> <td>主 事</td> <td>前田 陽子</td> </tr> <tr> <td>安田小学校</td> <td>主 任</td> <td>城市 祐希 (副グループ長)</td> </tr> </table>	益田中学校	事務リーダー	丸橋 弘美 (グループ長)	〃	主 事	田中 暁子	吉田小学校	主 任	宮内 裕樹	吉田南小学校	主任主事	稲田 耕一 (育休補充 藤永 美津江)	東陽中学校	主 任	又賀 美津子	鎌手小学校	主 事	前田 陽子	安田小学校	主 任	城市 祐希 (副グループ長)
益田中学校	事務リーダー	丸橋 弘美 (グループ長)																				
〃	主 事	田中 暁子																				
吉田小学校	主 任	宮内 裕樹																				
吉田南小学校	主任主事	稲田 耕一 (育休補充 藤永 美津江)																				
東陽中学校	主 任	又賀 美津子																				
鎌手小学校	主 事	前田 陽子																				
安田小学校	主 任	城市 祐希 (副グループ長)																				
執行方法	<p>(1) 毎月1回事務支援連絡会</p> <p>(2) 電話やメール・Teams 及び学校訪問を利用した支援</p> <p>(3) 小中連携による支援</p>																					
活動内容	<p>(1) 例月給与関係データ、諸手当認定、検認・年末調整時の相互点検</p> <p>(2) 自己目標についての情報共有及び意見交換</p> <p>(3) 異動事務職員及び期付主事への支援</p> <p>(4) 適正な就学援助事務及び集金事務のための小中連携</p> <p>(5) 活動記録の作成及び校内での活動内容の周知</p>																					

令和 5 年度 事務支援グループ活動計画書

益田市西部事務支援グループ

現状・課題	<p>今年度も本グループは、7校・9名（うち就学援助加配1名・事務グループ活動充実のための加配1名）の大規模編制である。学校規模の差による事務量の違いはあるが、小規模でも特異事例はあるため各校の事例を共有し、一人一人の資質が向上するよう、皆で一緒に解決していくような活動の継続が必要である。</p> <p>中でも手当の認定、検認、年末調整などは大きく責任を伴う業務であることから、誰もが疑問等を交流し、一人での判断ではなく他校に確認を取りながら作業することは、経験に関係なく必要である。そのため、昨年度のふりかえりを予習として取り入れることで、安心して業務に向かうことができるようにしたい。</p> <p>また、上記のことを踏まえ、事務職員が主体的に学校運営に関わり、各学校の課題解決につながるよう情報交換をしていきたい。公費・私費の保護者負担軽減や適正な執行など各校での課題を気軽に出し合い、解決につながる場としても活用したい。</p> <p>支援が必要な学校があれば、まずは校内で可能な事務を考えていただき、グループ会としては緊急性など状況を見守りながら支援していきたい。</p>
目 標	<p>(1) 学校事務の適正化</p> <p>(2) 事務職員の資質向上による学校(子ども・保護者・教職員)への還元</p>
重 点	<p>(1) 給与・旅費・保護者負担の軽減など学校での諸課題に適切に対応</p> <p>(2) 事例に基づく根拠法令等の確認と共通認識</p>
組 織	<p>事務支援グループ構成員</p> <p>・高津中学校 事務L 三原美由紀(長) ・中西中学校 事務L 大谷 桂子(副)</p> <p>・高津小学校 事務主幹 長本 法恵 ・ // 主事 野呂 香織</p> <p>・ // 主事 松浦 鈴香 ・中西小学校 事務主幹 佐藤 郁恵</p> <p>・小野中学校 主事 堀江 朋子 ・戸田小学校 主事 柳井妃佐子</p> <p>・桂平小学校 主事 宅野 笑子</p>
執行方法	<p>(1) 事務支援グループ連絡会の開催・・・月1回程度 年1回は各校巡回で実施し、教頭先生等の参加も歓迎し連携する</p> <p>(2) 各自の課題を気軽に出し合える時間を定期的に持つ</p> <p>(3) Teamsやサイボウズを利用した相互支援・情報共有・・・随時</p>
活動内容	<p>(1) 例月給与特殊事例、検認・年末調整、旅費特殊事例、諸手当認定など 各校の事例を共有し疑問点の確認と整理、解決</p> <p>(2) 学校運営上の個々の課題解決支援と各中学校区等における課題対応</p> <p>(3) 大型モニタ・PC活用により課題や論点の整理と共有(誰もがその場で理解できる)</p>

令和5年度 事務支援グループ活動計画書

益田市東部事務支援グループ

現状・課題	<p>グループ編制員は昨年度と同数の7名である。内1名は採用2年目であり支援が必要である。今年度の課題としてはグループ編成員の急な病休等に対応するための相互支援の体制を整えること。事務職員及び学校全体の事務の効率化、事務職員自身の資質向上等を進めていくために、計画的に教育事務所からの訪問、外部講師による研修会を企画し研鑽に努めたい。また、各々の「自己目標」を共有しあうことでそれぞれの課題解決の手助けをし合える活動を行いたい。</p>																					
目 標	<p>(1)学校事務の効率化・均質化 (2)事務職員の資質向上</p>																					
重 点	<p>(1)若年経験者への支援及び各校への相互支援体制整備 (2)研修会の実施、「自己目標」の共有 (3)手引、法令等を確認し、共通認識を深める</p>																					
組 織	<p>事務支援グループ編成員（7名）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">益田東中学校</td> <td style="width: 30%;">事務リーダー</td> <td style="width: 40%;">小川 紀子（グループ長）</td> </tr> <tr> <td>美都中学校</td> <td>事務主幹</td> <td>三浦 康世（副グループ長）</td> </tr> <tr> <td>益田小学校</td> <td>事務主幹</td> <td>沖田 和彦</td> </tr> <tr> <td>豊川小学校</td> <td>主任</td> <td>渡邊 博文</td> </tr> <tr> <td>真砂小学校</td> <td>主事</td> <td>寺田 諭子</td> </tr> <tr> <td>東仙道小学校</td> <td>事務主幹</td> <td>日高 幸枝</td> </tr> <tr> <td>都茂小学校</td> <td>主事</td> <td>高橋 佑未子</td> </tr> </table>	益田東中学校	事務リーダー	小川 紀子（グループ長）	美都中学校	事務主幹	三浦 康世（副グループ長）	益田小学校	事務主幹	沖田 和彦	豊川小学校	主任	渡邊 博文	真砂小学校	主事	寺田 諭子	東仙道小学校	事務主幹	日高 幸枝	都茂小学校	主事	高橋 佑未子
益田東中学校	事務リーダー	小川 紀子（グループ長）																				
美都中学校	事務主幹	三浦 康世（副グループ長）																				
益田小学校	事務主幹	沖田 和彦																				
豊川小学校	主任	渡邊 博文																				
真砂小学校	主事	寺田 諭子																				
東仙道小学校	事務主幹	日高 幸枝																				
都茂小学校	主事	高橋 佑未子																				
執行方法	<p>(1)事務支援連絡会 月1回程度 午前又は午後半日程度 (2)グループ内学校 事務支援グループ編制員及び関係者 (3)役割分担</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動計画・報告書、案内文書、他グループの情報、諸機関との連絡調整（G長） ・連絡会司会、グループ長補佐（副G長） ・記録（G長以外編成員輪番） <p>(4)サイボウズを利用した情報提供・情報共有、意見交換等 (5)小中連携による支援</p>																					
活動内容	<p>(1)年度当初諸手当認定・旅費請求書・特殊勤務手当・諸手当検認・年末調整書類等の相互点検と確認及び給与システム入力チェック (2)若年経験者への支援、各校訪問及び相互支援体制の確認 (3)教育事務所からの訪問（年2回）、研修会の実施（年1回） (4)「自己目標」の共有、アドバイス等 (5)日常業務の疑問解決や注意点等の情報交換と内容の共有 (6)赤本等を利用した法令等の確認、研修講座等の伝達、実務研修</p>																					

令和5年度 事務支援グループ活動計画書

益田市南部事務支援グループ

<p>現状・課題</p>	<p>南部グループは一昨年度から横田中学校区・匹見中学校区の2中学校区4校の3名である。今年度は1名が人事異動で替わったが経験年数があるので個別の支援はあまり必要ない状況である。グループ活動では諸手当認定のチェック体制の強化のために教育事務所からの訪問指導や法令等の読み合わせを行いたい。また、事務職員不在時の相互支援の方法を模索する必要性を感じている。</p> <p>3人という少人数でありまとまりやすい反面、活動が深まりにくい事も想定できるので、今年度も引き続き他の事務グループや関係機関との連携を図りたい。</p>
<p>目 標</p>	<p>(1) 学校事務の効率化・適正化及び平準化 (2) 事務職員の資質向上</p>
<p>重 点</p>	<p>(1) グループ内チェック体制の強化 (2) 事例に基づく根拠法令等の確認と共通認識 (3) 小・中学校間連携・関連業務（遠距離・就学援助等）の共有</p>
<p>組 織</p>	<p>事務支援グループ構成員 匹見小学校 主任 三浦 隆嗣（副グループ長） 匹見中学校 （兼務） 西益田小学校 主任 露口 真由美 横田中学校 事務リーダー 間野 由香（グループ長）</p>
<p>執行方法</p>	<p>(1) 事務支援連絡会を、毎月一回以上開催する (2) サイボウズ及びTeamsを活用した情報交換</p>
<p>活動内容</p>	<p>(1) 給与システム入力の相互点検・事例研修 (2) 旅費請求書・諸手当認定の相互点検 (3) 条例・規則改正等の確認 (4) 年末調整提出書類の相互点検 (5) 就学援助事務の小・中学校間連携 (6) 遠距離通学に関する事務の共有 (7) 自己目標の共有 (8) 会計事務処理研修（Excel・Access研修）</p>

令和5年度 管理部活動計画書

【 管 理 部 】

<p>組織</p>	<p>部 長 日高幸枝(東仙道小学校) 副部長 沖田和彦(益田小学校) 部 員 又賀美津子(東陽中学校) 城市祐希(安田小学校) 田中暁子(益田中学校) 稲田耕一・藤永美津江(吉田南小学校) 松浦鈴香(高津小学校) 柳井妃佐子(戸田小学校) 大谷桂子(中西中学校) 宅野笑子(桂平小学校) 小川紀子(益田東中学校) 渡邊博文(豊川小学校) 高橋佑未子(都茂小学校) 間野由香(横田中学校)</p>
<p>業務内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文書管理(ICT)に関すること ・システム管理に関すること
<p>活動計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○文書管理(ICT)に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・ファイル管理掲載の「文書管理のICT化」について内容の見直し ・スキャンスナップ(ホーム)及びフェンリルについての活用事例やアイデアの紹介 ○システム管理に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・「新・就学援助事務支援ソフト」の作成(管理部で検証後、全校へ配布予定) ・備品台帳取りまとめ ・給食台帳及び備品台帳のアフターケア

令和5年度 活動計画

【 教育支援部 】

<p>組 織</p>	<p>【チームA】</p> <p>宮内裕樹(吉田小) 三原美由紀(高津中) 長本法恵(高津小)</p> <p>前田陽子(鎌手小) ◎三浦康世(美都中) 寺田諭子(真砂小)</p> <p>【チームB】</p> <p>丸橋弘美(益田中) 堀江朋子(小野中) 三浦隆嗣(匹見小)</p> <p>露口真由美(西益田小) ○佐藤郁恵(中西小) 野呂香織(中西中)</p> <p style="text-align: right;">◎部長 ○副部長</p>
<p>業務内容</p>	<p>A. 就学援助に関すること</p> <p>B. 特別支援教育就学奨励費に関すること</p>
<p>活動計画</p>	<p>3年次計画の3年目。</p> <p>教育支援部の活動の柱は上記A・Bの二つとし、前年度までの取組みを継続する。</p> <p>A. 就学援助に関すること</p> <p>①「就学援助制度」周知用チラシの改良 ～優しい日本語を使用した、わかりやすいもので、市民課窓口、公民館、保育所、ショッピングセンター等への掲示を想定している～</p> <p>②申請書様式の改良及び申請方法の検討 世帯で1枚の申請書で申請が完了するようにするために改良した様式及び申請方法を整理し、市教委へ提案する。</p> <p>③再申請にかかる書類を市教委と関係者間(保護者、民生委員)で直接やり取りできないかについての検討 以前市教委へ提案したものを再度提案する。</p> <p>④修学旅行費の概算請求 様式、添付書類などの請求時また精算時に必要なものの整理をし、市教委へ提案する。</p> <p>・「保護者宛文書」と「手引き」の見直し検討、サイボウズ内のデータ更新</p> <p>B. 特別支援教育就学奨励費に関すること</p> <p>①特別支援教育就学奨励費システム(ソフト)のアフターケア 各校から要望があれば随時修正し、完成版を年度末にサイボウズに掲載する。</p> <p>②保護者手続きの簡素化(新入学用品費等の定額制に向けて) 該当家庭の満額請求の実績をあげるため、各学校へ情報提供を行い、提出状況などの情報収集を行う。</p> <p>※市教委担当者との協議を重ねる中で、以前からの持ち越し事項を、ひとつずつ「成果」にできるようにする。</p>